

こんにちは 松坂みち子 です

日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< No.380 2018.9.19 連絡先 402-1622 >



バスツアー行ってきました

お天気に恵まれ、総勢92名行ってきました。

まず昼食前のどどん広場では、空腹のせいもあってつい買い過ぎた方も？昼食はぶどう棚の下でお弁当をいただきました。農園の方が全員座れるよう用意してくれました。子どもたちははさみを手に「これがよさそう」とチョコキン。童謡や懐かしい歌も歌いました。うるわし館では海南海草の雑賀光夫県議が現れてびっくり。実は海南の党の事務所がすぐ近くです。最後は中野BC。売店では梅酒の甘い香りが漂う中、私は梅のソフトクリームを食べ、焼酎の“42.195”を買いました。



「『ぶどう狩り』なのにぶどう狩らなかったあ」

「どどん広場は最後がいい」などなど

いろいろなご意見も参考にしてさらに楽しい企画を考えたいと思います。



参加のみ
なさんお
疲れさま
でした。
今回行け
なかつた
方は、次
の機会に
ぜひご一
緒に。

みち子のひとりごと 市立高校

見、納得の連続でした。
意見交換会の後に、校内を見せ
てもらいました。トイレのほとん
どが和式、多目的教室にはエアコ
ンがないなど改善すべき点あり
ますが、その中でも、いきいきと
部活動に取り組む生徒
の姿に、元気をもらっ
て帰ってきました。



「高齢者向けのことでもよいけど、
若い人向けにも何かほしい」芸
能人のイベントがあつて和歌山に
来ても、他に遊べる場所
がないから泊まらないで
帰ってしまう人が多いと
思う””話題になりそう
なお店とか自分たちももっ
と知って発信していけば
よい””いい店があつて
も不便な場所、車でな
いと行けないから困る”
など、高校生ならではの意

議会の広報委員をしています。
2学期が始まってすぐのころ、広
報委員会、市立和歌山高校の生
徒さんたちと「まちづくり」「教
育」「観光」「環境」「公共交通」
のテーマに別れて、意見交換会を
行いました。私は「観光」のグルー
プでした。

こんにちは

井本ゆういちです



先日17日に後援会のブドウ狩りバスツアーに参加しました。

お天気に恵まれ、皆さん笑顔で楽しんでおられましたね。ピオーネも美味しかったです。

準備や、お世話をしていた方もお疲れさまでした。ありがとうございます。

それにしても、バスの行く先々で、屋根にビニールシートがかかっている家を結構見ました。中野酒造さんでも通路のアクリル板が割れていま

した。

ツアー中に電話を受けた屋根修理の相談も、しばらくの間は、自分でビニールシートをかぶせる応急処置でしのぐしかないとのことでした。

再び台風がきたらと考えると、非常に不安です。

共産党地区委員会の電話は回線を修理してもらい、復旧しました。この点では、予定より早くてよかったです。

潮流

2018・9・17

飾らない人でした。他人と比べず、周りに流されず、自分のなかにある芯を大切に。そんな自然体の生き方が演技にも表れた類まれな役者でした▼70年代に人気を博したドラマ「寺内貫太郎一家」。沢田研二さんのポスターの前で「ジュリイ」と叫ぶおばあさん役が当時31歳の樹木希林さんでした。年齢より40歳も上の老け役。その役柄に違和感はありませんでした▼以前、雑誌のインタビューでこんなことを。「何かを声高に語るわけではないけれど、淡々と流れる時間の根底にある人間賛歌みたいなものを感じていただきたい」。さまざまなものを背負った人間を包み込むような存在感を發揮しました▼河瀬直美監督の映画「あん」ではハンセン病の元患者を演じました。そのときの思いを本紙日曜版で話しています。「生まれることがもはや素晴らしいのだから、いらない存在なんてないんですよ。人間は個々違うけど、そこに上下はない。役割が違うだけなの」▼「愚かな戦争はやめましょう」と若い世代に呼びかけた希林さん。地方局の戦争ドキュメンタリーにも出演し、各地を訪ね、辺野古のテント村にも足を運びました▼左目の失明や全身をがんに侵されながら、気丈に生きた75年の人生。本紙日曜版の創刊記念にはこの人らしい祝辞をいただきました。「人間に対して幅の広い、柔軟な方向も目指してほしい。支持することに不安の残る人びとからの信頼を得ることにもつながると思いますよ」。感謝し、別れを惜しみたい。



10月6日(土)
フラザホール4階
13:30開場 14:00開会

文化行事
清水ただし前衆院議員のお話
松坂みち子もお話します

主催：松坂みち子を励ますつどい実行委員会